



第 11 号
平成 30 年度
12 月 21 日発行

志高く

自ら考え 学び続ける生徒
心豊かで 思いやりのある生徒
体を鍛え やり抜く生徒



「本気・全力の挑戦」で得たもの - 「大志」を「善進」につなぐ -

石川 浩

毎年「漢字の日」である 12 月 12 日、その年の世相を表す漢字一文字が発表されます。1995 年に始まり今年で 24 回目となったそうですが、もうすっかり年末の風物詩となっています。2018 年の「今年の漢字」は「災」でした。6 月に大阪北部地震、7 月には 西日本豪雨、9 月にも 北海道胆振東部地震が発生しました。また 7 月には熊谷市で 41.1℃の日本歴代最高気温が観測されました。今年 は地震や豪雨、台風、猛暑などの自然災害の脅威を痛感した 1 年だったことから選ばれたそうです。

「辛い」深谷中学校では大きな「災い」もなく、2018 年を終えられそうです。何故でしょうか。



それは、大きな災いの兆しをとらえて速やかに対応し大きな被害を防ぐ手立てを講じているから です。大阪北部地震の際に起きてしまった学校のブロック塀が倒れ小学生が亡くなるという痛まし い事故。その直後から、深谷市では学校等のブロック塀を点検し危険箇所改修に取りかかりました。深谷中もプールと北と西のブロック塀を安全なフェンスに改修していただきました。学校としても 臨時点検をし、棚等の固定や災害時の避難経路や避難方法の再検討を行いました。

「災い」はどこにでも起こるもので、深谷中でも小さな「災い」は幾つもありました。それをきちんと 受け止め再発防止の手立てを講じることはもちろん、「災いを転じて福と為す」取組を積極的に進 めていることが、結果として大きな災いを遠ざけていると考えています。深谷中の 2 学期の重点は 「本気・全力で挑戦」でした。文化発表会・体育祭・校内音楽会の三大行事や部活動の新人戦、そして 生徒会活動や日々の授業や清掃など、現状を見つめ、課題をとらえ改善する…こうした大小様々な 「挑戦」に、学校をあげて本気・全力で取り組んできた 2 学期でした。

学校総合体育大会に続き新人戦でも埼玉県 1 位となったソフトボール部は、毎朝全員でネットに 向けトスバッティングをしています。漠然とはなくねらいを定め 1 球ごとにかけ声を発して繰り返 し繰り返しボールを打ちます。1 ケース打ち終わるとネットに駆け寄りボールを集めます。数百 あるボールをケースに入れ、またトスバッティング。1 日で、1 ヶ月で、1 年で、いったい何球打 つのでしょうか。こうした「小さな挑戦」が失敗を成功に変え勝利を呼び込んでいるのだと感じます。

深中には体を動かすことが容易でない生徒もいます。階段を上がってくることも分かるように踊 り場に鏡が設置されています。500 名を超える深中生はそれを意識して行動してくれます。最近彼 は、朝お母さんと落葉掃きをしてくれています。自分にできそうなことを探し「小さな挑戦」をして いるのです。

3 年生の学年スペースに、学年色である赤で大きく印刷された「幸」の文字が飾られています。よく 見ると第一画の横線が黒く縁取られています。「辛い」という文字も「一」を加えるだけで「幸せ」に なる、1 年生のスキー教室に出かける前に前校長の神田先生から贈られたそうです。そういえば「わ ざわい」もちょっと音を変えると「さいわい」になります。「一」を加える、音を少しだけ変えるよう な、「小さな挑戦」や心遣いを、惜しまず、ためらわずにできる深中生が育ってきていると感じる 2 学期末です。第 40 代生徒会のスローガン「大志」と第 41 代生徒会のスローガン「善進」をつなぐのは、 こうした「小さな挑戦」だと思います。

平成 30 年も、深谷中学校の教育活動への深いご理解と温かいご支援をいただきありがとうございます。 来る年も、保護者の方々や地域のみなさまと力を合わせ、ご家庭と地域の宝である生徒 たちが力強く「善進」できるよう力を尽くしてまいります。引き続きよろしくお願いたします。

2 学期を振り返って

2 学期終業式の中で、各学年の代表が今学期を振り返るとともに、3 学 期への決意を語ってくれました。その一部を紹介します。

柏坂 恭輔さん

1 年 3 組



2 学期は、深中三大多行事を通してクラスも学年も成長することができました。

文化発表会は、1 年生も発表や展示をしました。3 年生・2 年生の発表、吹奏楽部の演奏や美術 部の作品に圧倒されました。体育祭は、体育委員がリーダーとなり、生徒が作戦や練習計画を考え ました。先輩のように、自分たちで行事を創るという意識をもてました。真剣に練習し全力で競技に参 加したことで、クラスや学年のまとまりを強くできました。音楽会で実行委員になりクラスをまとめる役 割を任されました。クラス合唱も学年合唱も、集団で創り上げる達成感を味わうことができました。

深中三大多行事とは、生徒が力を合わせ主体的に創り上げていくものだと思います。3 学期にはス キー教室があります。三大多行事を通して学んだことをスキー教室で発揮し、深中の先輩となる準備を しっかりとしていきたいです。

部活も生徒会も委員会も、その中心となりながら、中だるみと言われがちな 2 年という学年。私はテ ニス部の部長を任された時の気持ち・初心をどんな時も忘れず取り組んでいきたいと思っています。

先週の社会体験チャレンジで、私は接客の仕事を経験しました。3 日間だけでしたが、その中でた くさんのことを学びました。いつもしているあいさつや礼儀がどれほど大切なのか、人に頼られること がこんなにも嬉しいことなのか、そして、仕事とは相手のために働くものということ、……。

私たちの中学校生活の折り返し点であったこの 2 学期は、先輩としての、また人としても、自分を見 直す素晴らしい機会でした。そして、私たちはもっとも成長できると思いました。そのために、私た ちのよさも課題も全員で理解し、自分たちで高め合っていくようにします。人としてそれぞれの個性を 大切に、確かに大きな成長を遂げるようにしたいと思います。私たち緑学年のよさを生かして、 深中の最上級生につながる 3 学期にしていきたいです。

村越 藍さん

2 年 3 組



吉田 佳由さん

3 年 3 組



受験生としての 2 学期が終わろうとしています。学年で切磋琢磨した 4 ヶ月で、私たちは大きく成長 したと感じています。この成長も、最高学年として迎えた三大多行事があったからです。振り返れば、私 たちは三大多行事を通して大切な力を自然と身に付けていたのだと感じます。

生徒会引継ぎ式を終え、受験のための提出物や三者面談が増える中で、受験が近づいているこ とを実感しました。授業で分からないことがあると職員室に質問に行く友達を見て、私も頑張らなくて はと思われました。受験は団体戦とも言えます。三大多行事を通して培った仲間との絆や高め合っ てきた力を信じて、3 学年全体で受験を乗り越えていきたいと思ひます。

いよいよ明日から、私たちにとって勝負の冬休みです。もちろん勝負の相手は「自分自身」です。 甘えがちな自分に打ち克つため意識を高くもち、更なる向上を目指していきます。入試本番を迎え たとき、赤学年全員が「精一杯頑張ることができた」と思えるように、この冬休みで大きく前進します。

創立 40 周年記念ロゴマーク



今年度深谷中学校は創立 40 周年を迎えています。そこで記念ロギ マークを作成することにしました。生徒からデザインを募集し、3 つの候補作から 文化発表会の中で行った全校生徒の投票により決定しました。決定した原案をもと に美術部が作成してくれたのが、このロゴマークです。いろいろなところで活用し ています。美術部が作成してくれたロゴマークの横断幕は校長室前の掲示スペース を飾っています。また、先日撮影した全校生徒の集合写真と深谷中学校全景の航 空写真、そしてこのロゴマークを入れたクリアファイルを現在作成中です。年度内 に生徒に配布する予定です。

2 年生「社会体験チャレンジ事業」

12 月 11 日から 3 日間、地域のご協力をいただき、2 年生が 「社会体験チャレンジ事業」に 挑戦しました。

この取組は、2 年生が志高く夢 を語る会、「志高式」(1 月 30 日 開催)で完結を迎えます。 ご期待ください。



